

別冊

令和8年度茨城県立中学校及び茨城県立中等教育学校の
入学者選抜「適性検査Ⅰ」の問題における記述不足と
検査時間中の追加指示に係る再発防止策について

報告

茨城県教育委員会

【目 次】

【参考資料 1】	1
本報告に対し意見をいただいた方々と主な意見	
外部有識者（五十音順・敬称略）	
茨城県教育委員会委員（敬称略）	
主な意見	
【参考資料 2】	2
「適性検査Ⅰ」の ² 問題 2	
【参考資料 3】	3
追加合格者の状況について	

【参考資料1】

本報告に対し意見をいただいた方々と主な意見

外部有識者（五十音順・敬称略）

所属	氏名	経歴等
弁護士	有馬 慧	
税理士・公認会計士	坂本 和重	県立高等学校等入学者選抜調査改善委員会委員
常磐大学副学長 アドミッションセンター長	村井 文江	

茨城県教育委員会委員（敬称略）

所属	氏名	経歴等
教育長職務代理者	幡谷 史朗	茨城トヨタ自動車(株)代表取締役社長
委員	庄司 一子	東海大学教授
委員	富田 敬子	学校法人常磐大学理事／常磐大学特任教授
委員	伊藤 道子	医療法人弘仁会志村病院理事長
委員	磯部 大吾郎	筑波大学理工学群工学システム学類長
委員	森 淳一	(株)ユードム代表取締役社長

【主な意見】

区分	意見
問題作成について	<ul style="list-style-type: none">第三者や複数人での複数チェック体制が必要である。人間が思いつかないミスの防止については、最先端のデジタル技術の活用も考えられる。その際、秘匿性の担保が必要であり、あくまで補助的な役割とすべきである。担当者が責任感をもって業務にあたるべきである。
運営について	<ul style="list-style-type: none">検査時間中の追加指示は、受検者の心理的負担や現場の混乱につながるので原則行うべきではない。検査開始前に追加指示することは考えられる。ミスが起きたときに、どうリカバリーするかというフローを確立しておくことが重要である。問題に不備があった時の採点上の措置の判断を明確化する必要がある。
マニュアルについて	<ul style="list-style-type: none">誰もが対応できるフローやマニュアルの整備が必要である。作成に当たっては、受検者や学校に寄り添った対応ができるかという視点を大切にしてほしい。マニュアル遵守の徹底と事前のシミュレーションで統一した動きができるようにすることが必要である。

【参考資料2】

「適性検査I」の[2] 問題2 「資料 チェックデジットの決め方」<抜粋>

- 手順1 チェックデジット以外の数について、右から順に1番目、3番目、5番目、7番目、9番目、11番目の6つの数をすべて足して3をかける。
- 手順2 チェックデジット以外の数について、右から順に2番目、4番目、6番目、8番目、10番目、12番目の6つの数をすべて足す。
- 手順3 手順1と手順2で求めた数を足す。
- 手順4 手順3で求めた数の一の位の数を10から引いた差がチェックデジットになる。

手順4に、以下の文言を追加

ただし、手順3で求めた数の一の位の数が0のとき、
チェックデジットは「0」とする。

例



図1 バーコードの例

※一番右の数「8」が
チェックデジットとなる。

4 9 ⑦ 5 ① 4 2 5 9 0 9 1 ⑩

みどり：いちばん右の数「1」がチェックデジットだよね。

みどりさんの考え方

チェックデジットの決め方のとおりに計算する。

手順1を計算して、72

手順2を計算して、⑦+①+

手順3を計算して、⑦+①+

手順4について、手順3で求めた数の一の位の数を10から引いた差がチェック
デジットの「1」になるので、⑦+①の一の位の数は となる。

そして、⑦がいちばん大きくなるときを考えると、⑦は となる。

※チェックデジット…バーコードが正しく読み取れたかどうかを確かめるための数
(バーコードの下に書いてある一番右の数のこと。)

【参考資料3】

令和8年度県立中学校及び県立中等教育学校入学者選抜に係る 救済措置による追加合格の状況について

1 追加合格の考え方

- 令和8年1月22日（木）に発表した合格者の総合点の合格者最低点を追加合格者を決定する基準とする。
- 不合格者全員の「適性検査Ⅰ」の[2]問題2の得点を満点の14点とする。
- そのうえで、総合点の合格者最低点以上の受検者のうち、1学級35人の定員に対し、現行の定員である40人までの範囲で最大5人までを追加合格者とする。

2 追加合格者数等

学校名	募集定員 (人)	合格者数 (人)	追加合格者数 (人)	入学予定者数 (人)※
日立一高附属中	70	70	10	79
太田一高附属中	35	35	4	39
水戸一高附属中	70	70	10	80
鉢田一高附属中	35	35	5	40
鹿島高附属中	35	35	5	40
土浦一高附属中	70	70	10	80
竜ヶ崎一高附属中	35	35	5	40
下館一高附属中	35	35	5	40
下妻一高附属中	35	35	5	40
水海道一高附属中	35	35	5	40
勝田中等教育	105	105	15	119
並木中等教育	140	140	20	158
古河中等教育	105	105	15	120
合 計	805	805	114	915

※ 入学予定者数は、追加合格の連絡期間が終了した1月29日（木）現在。日立一高附属中、勝田中等、並木中等で人数が合わないのは、入学辞退者が出了ることによるもの（1学級当たり最大5人の追加合格者を出しており、募集定員を満たしているため、新たな補充は行わない）。